

スマートウエルネスみしまの推進

アナ： 「市長が語る 2016 三島」第6回の今日は、「スマートウエルネスみしまの推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 市長のご挨拶の中でも「人も街も産業も健康で元気な街」としてスマートウエルネスみしまという言葉をお聞ひしますが、どのようなものでしょうか。

市長： これからの少子高齢化、人口減少という社会が直面している大きな課題に対応し、市民の健康づくりはもとより、いきがい・きずなづくり、地域活性化・産業振興に至る幅広い分野に健康の視点を取り入れた協働のまちづくりを進めているものです。市民が健康で幸せと感じられ、まちも産業も活気あふれる“健幸”都市みしまの実現を目指しています。

アナ： では、どのような取り組みをされるのでしょうか。

市長： 大きく3つの分野で取り組みます。

1つ目は「市民総参加で健康寿命を延ばす健康づくり」です。これは病気を治すという治療中心から病気にならない健康な体をつくるという予防重視へと意識と行動を変えること、科学的根拠に基づく効果的な健康づくりプログラムの導入であります。

2つ目は「生涯を通じて社会参加・地域交流できるまちづくり」です。これは社会参加や交流の機会の創出、歩いて楽しいまちづくりや公共交通の充実という施策を通じて、いきがい・きずなづくりを推奨するものです。

3つ目は地域活性化や医療健康産業を中心とした産業振興などにより「将来にわたって成長し続ける健幸都市づくり」というものです。

これら3つの方向性により様々な施策を展開しています。

アナ： なるほど、保健医療分野だけで個人の健康増進を図るのではなく、生活環境や地域社会、学校や企業などあらゆる分野を視野に入れた取り組みを行うことで、人はもとより都市そのものを健康にするということですね。

市長： はい。健康づくりをしているという意識がなくても生活を楽しんでいたら自然に健康づくりにつながっていた、というような環境づくりをしたいと考えております。

アナ： 具体的にはどのような取り組みをしているのでしょうか。

市長： 「総合的な取り組み」としましては、健康づくりをはじめとする幅広い活動にポイントを付与して、抽選で景品を差し上げることで健幸活動を促す「健幸マイレージ事業」や、スマートフォンアプリを活用し健康づくりとまち歩きを融合させることで市民や観光客に楽しく歩いて健康になってもらう「みしまあるく事業」

等がございます。

「健康づくり」の取り組みでは、健康づくり支援プログラムといたしまして筑波大学の研究データに基づき効果的な個別指導と継続支援を可能とする「健幸運動教室」や、より多くの市民の方に健康づくりに関心を持っていただくため、市の保健師・栄養士等が集客施設やイベントに出張し、各種測定や健康相談、啓発を行う「出張！健幸鑑定団事業」等がございます。

「いきがい・きずなづくり」の取り組みでは、相談業務やセミナー開催等を通じて、子育て世代や子育てがひと段落した女性の職場復帰支援や、高齢者の経験や技術を生かした就労支援等を進める「女性と高齢者のチカラ活用事業」がございます。

最後に、「地域活性化」の取り組みでは、箱根西麓三島野菜をはじめとする農畜産物と観光資源、さらには企業の技術・ノウハウを結び付け、付加価値の高い商品・サービスを生み出す「農商工連携事業」や、「三島に来ると健康で幸せになれる」をキーワードに市内外から観光客を呼び込み、地域活性化を図る「健幸観光事業」等がございます。

アナ： 本当に幅広い取り組みをしているんですね。

市長： はい。それだけではなく、昨年度からは株式会社タニタとの協働事業、ノルディックウォーキング事業、みしま健幸塾事業等も展開しており、健康のためという意識がなくとも楽しんでいるうちに自然と健康づくりをしていたことにつながるよう、企業・団体・市民との協働により幅広い健康づくりを進めています。

アナ： タニタとの協働事業などは全国でも先進的な取り組みで、私たちも参加できることをとても嬉しく思っています。

市長： そうですね。タニタの管理栄養士が監修したメニューを提供する店舗も市内に8店舗あり、三島の街を散策したり、ノルディックウォーキングして楽しんだ後は、ヘルシーで美味しい食事をしてさらに健康になっていただけますので、ぜひお立ち寄りください。

いずれにしましても、スマートウエルネスみしまの取り組みにより、健康なうちから健康づくりに取り組んでもらうことで、健康寿命をより伸ばしていただき、市民の皆様の幸福度向上につなげていきたいと考えております。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。